

1. 本園の教育目標

- ・しなやかで健康な心と身体をもつ子ども
- ・遊びや仕事に力いっぱい取り組む主体的な子ども
- ・自分も友だちも大切にする子ども
- ・心を動かし創造性を発揮して自由に表現する子ども

2. 評価結果について

I 教育目標・計画についての項目では、教育理念や方針については概ね理解をしているが、園の目指す子どもの姿を、具体的にイメージできるかに対しわからないとの回答が一部あった。子どもの興味関心や姿を捉えることは基本で大事な点であり、そこから振り返りを行って次の計画につなげていく手順を周知し行っていきたい。

II 保育についての項目では、子ども一人ひとりの発育や発達の状態について理解し、子どもの話に耳を傾けるよう心掛けている結果は得られたが、ありのままの姿を受け入れる、禁止、命令、せかす言葉等の言葉や態度にならないよう心掛けている、については若干名わからないとの回答があった。幼稚園が自分を出せる場になり、保育者の適切な言葉かけやかかわり方がなされるよう今一度共通理解を図っていきたい。

III 行事については、種類や回数について現状のまままでよいとしたのは75%であった。行事のねらいを計画や実施に生かしているかの項目については若干名わからないの回答があった。行事の目的や具体的なねらいについてはまず話し合い、確認した上で、内容につなげていきたい。

IV 保護者への対応については、概ね丁寧な対応となっており、さらに日々の生活の様子や子どもの育ちについて写真やドキュメンテーション、SNS 等を通して伝え、保護者と情報共有を図りながら、理解と連携につなげたい。

V 職場のコミュニケーションの項目については、概ねコミュニケーションが図られている。この数年職場環境の改善に努めてきた。今後も前向きな発言や提案が成されていくよう適切な環境と良好な関係づくりの構築に努めていく。

VI 質向上の項目については、概ね保育者としての自覚を持っている。保育者として専門性向上のための研修は義務でもあり、これから学ぶ意欲が高まる園の風土をつくっていくたい。

3. 今後取り組みべき課題について

今後も教育目標に沿った園の目指す子どもの姿について全ての職員が共通理解し具体的にイメージ出来るよう、語り合い学び合う機会を設けていきたい。

また子どもの主体性を大切にした質の高い保育を行っていくために、子どもの見取り方と保育者との関係性についても共通理解していく。

子どもの興味関心、思いや願いを読み取り、必要な場や環境を整えて、子どもの学びと育ちにつなげていきたい。そのためにも保育の中の子どもたちの姿や出来事について語り合うことが課題であるが、短い時間でも生み出して実践していきたい。そのことはチーム保育で重要な情報共有にもつながっていく。語り合うことから見えてくることを保育内容、環境、計画、振り返り等に生かしていきたい。合わせて子どもが主体的に活動したくなる環境のあり方を探っていく。

行事についてはねらいを明確化し、日常の保育と子どもにとっての視点を大事にしながら、行事がどの子どもにとっても嬉しい豊かな経験の場となることを目指し配慮工夫して行っていく。